



**MIDA TOKYO OFFICE**  
マレーシア投資開発庁 東京事務所  
32F, Shiroyama Trust Tower  
4-3-1, Toranomon, Minato-ku, Tokyo  
105-6032, Japan  
〒105-6032 東京都港区虎ノ門4-3-1  
城山トラストタワー32階

T : (03) 5777 8808  
F : (03) 5777 8809  
E : tokyo@mida.gov.my  
W : www.mida.gov.my

2017年10月吉日

マレーシア投資開発庁  
東京事務所 所長  
ザヒルウ・イシャック

## 「マレーシア石油化学・化学関連産業におけるビジネス・投資機会」 ビジネス対話・懇親会へのご招待

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、2017年11月14日（火）にマレーシアの製造業およびサービス業の促進のための政府の主要機関であるマレーシア投資開発庁（MIDA）は、国際機関日本アセアンセンターと Petroliam Nasional Berhad（PETRONAS）の協力のもと、日本アセアンセンター1階のアセアンホールにて「マレーシア石油化学・化学関連産業に関するビジネス・投資機会」ビジネス対話・懇親会を開催いたします。

ビジネス対話セッションでは、マレーシアの石油化学・化学関連産業（5つの有望なセクター－石油化学、化学、オレオケミカル、プラスチック、ゴム分野を含む）へのビジネス・投資機会についてご説明いたします。

ビジネス対話の目的、対象は下記の通りです。

### 目的

1. 石油化学、オレオケミカル、化学、プラスチック、ゴム産業におけるマレーシア政府の政策、優遇措置、サポートに関する最新情報の提供。
2. 石油化学、オレオケミカル、化学、プラスチック、ゴム産業における投資機会についての情報提供。
3. マレーシア最大の複合的石油・ガス企業である PETRONAS 社と直接対話をする機会の提供。

## 対象

マレーシアの石油化学・化学産業で具体的な事業を検討されていない場合でもご参加ください。また中小企業の方のご参加も心よりお待ちしております。

- 石油化学、オレオケミカル、化学、プラスチック、ゴム産業や関連サービス企業の代表者や経営陣
- 下記の分野にご関心をお持ちの投資家、企業、製造業企業など。
  - マレーシアの石油化学、オレオケミカル、化学、プラスチック、ゴム産業の製造活動の最新情報
  - マレーシアの石油化学、オレオケミカル、化学、プラスチック、ゴム産業の各サプライチェーンについて
  - MIDA と PETRONAS 社のメンバーとのネットワーキング
  - PETRONAS 社のマレーシアのプロジェクトによる原料入手可能性とビジネス機会について
  - PETRONAS 社による Pengerang Integrated Complex (PIC) での Rapid Project の進捗に関する最新情報
  - PETRONAS 社による Sabah Ammonia and Urea plant (SAMUR) の進捗に関する最新情報

ビジネス対話・懇談会の詳細は下記のとおりです。

日程	:	2017年11月14日(火)
時間	:	13:00 - 17:00 (受付 12:30 開始)
会場	:	国際機関日本アセアンセンター1階アセアンホール
主催	:	マレーシア投資開発庁 (MIDA)
共催	:	国際機関日本アセアンセンター 日本貿易振興機構(JETRO) (予定)
後援	:	三菱東京UFJ銀行(予定)
定員	:	100名程度
参加費	:	無料
言語	:	日・英 (英語のプレゼンにつきましては日本語への逐次通訳あり)

### ◇ 詳細・ご登録はこちら

ご参加をご希望の方は、別添申込書にご記入のうえ **2017年11月3日(金)** までに FAX または E-mail にてご返送ください。

### ◇ 照会先

詳細につきましては、下記の担当者にご連絡ください。

マレーシア投資開発庁 東京事務所

担当：前川・井上

Tel: (03) 5777-8808 Fax: (03) 5777-8809

E-mail: [tokyo@mida.gov.my](mailto:tokyo@mida.gov.my)

Website: <http://www.mida.gov.my>

上記ビジネス対話・懇談会への貴台または代理の方のご出席をお待ち申しあげております。

謹白

## 記 プログラム

- 12:30 - 受付
- 13:00 - 開会挨拶
- 13:20 - マレーシア投資開発庁 (MIDA)  
化学・先端材料部 部長  
ウマラニ・ムニアンディによるプレゼンテーション  
「石油化学化学産業における投資・ビジネス機会」
- 14:20 - 「ペンガラン統合コンプレックス (PIC), サバ州アンモニア・尿素  
プラント (SAMUR) およびその他における最新情報と原料入手の可能性について」  
ペトロナスケミカルグループ (PCG)  
戦略・事業企画・ベンチャーズ部 本部長  
アクバル・マッド・タヨブ氏
- 15:20 - 「中堅・中小企業の海外展開最新事例とジェトロのサービスについて」日本貿易振興機構 (ジェトロ) ビジネス展開支援部  
主査 松尾 修二氏
- 15:50 日本企業とのビジネス対話 (質疑応答)
- 16:20 - 懇親会
- 17:00 - プログラム終了

### マレーシアの石油化学・化学関連産業について

#### 石油化学

マレーシアの石油化学産業は 1990 年代に急速に成長し始めました。原料の入手が可能であり、十分に整備されたインフラ、サポートサービスの強力な基盤があることなどが急発展のきっかけとなりました。カネカ、ポリプラスチックス、BP、Shell、BASF など多くの大手

石油化学企業がこの時代にマレーシアに生産拠点を設立しました。 主要な石油化学拠点はケルテ、ゲベン、パシル・グダン/タンジュン・ラングサット、ラブアン、グルン、ビンツルと、最近開発されたシピタンとペンガランに位置しています。

### オレオケミカル

現在まで、オイルパームはマレーシアで最大のプランテーション作物の一つです。 この豊富な原料は、花王、Emery、Procter & Gamble、Croda、Iffco などのグローバル企業の 15 以上のオレオ化学工場の設立をもたらし、食品、製薬、化粧品、洗剤分野を含む製造業向けの原材料の製造が行われています。オレオケミカルの主要な輸出品目は、脂肪酸、メチルエステル、脂肪アルコールおよびグリセリンです。 マレーシアは現在、世界のオレオケミカルの主要生産国の 1 つであり、グローバル生産能力の 20%を占めています。

### 化学

石油化学やオレオケミカルはマレーシアの主要化学分野ですが、農薬、工業用ガス、エポキシ、接着剤、塗料、印刷インキ、その他の特殊化学物質もまた、それぞれの確立されたエコシステムで十分サポートされており、化学分野に貢献しています。工業用ガスの主要製造企業には Malaysian Oxygen (MOX)、Air Products、Southern Industrial Gas、Bintulu Industrial Gas などがあり、PETRONAS と CCM はマレーシアの農薬製造企業です。

工業用ガス部門と同様に、特殊化学品業界は、石油・ガス、エレクトロニクス、自動車、製薬など他の産業の発展の結果として成長しました。 The Linde Group、BASF、DuPont は、マレーシアに進出している特殊化学製品のトップメーカーです。 さらに、生石灰メーカーや Schaefer Kalk などの石灰製品のメーカーは、品質の高い石灰岩鉱床を利用するためにこの地域に投資しています。

### プラスチック

プラスチック製品産業は、マレーシアの製造業において最もダイナミックな産業の 1 つです。 1,450 社以上の企業があり、一般家庭用品、梱包材、運搬用品、電気・電子、自動車、OA 機器、コンピュータ、電気通信産業の部品に至るまで製品を生産しています。川下である国内のプラスチック加工産業の成長は、PE、PP、PVC、PS、ABS、PA、SAN、PBT などのプラスチック産業用の材料の安定供給を提供する国内で発展した石油化学製品の存在に起因しています。マレーシアの大手プラスチックメーカーには、Nylex、BPPIas、Scientex、Elanware などがあります。

### ゴム

マレーシアのゴム製品産業は、ゴムの工業化の代表的な成功事例です。質の高い原材料、政治的安定性、優れたインフラや、Tun Abdul Razak 研究センター (TARRC) や Malaysian Rubber Board (MRB) の研究開発におけるサポートにより、マレーシアは真に、ゴム産業のグローバルプレーヤーであり、幅広くゴム製品を世界市場に供給しています。Top Glove、

Hartalega、Kossan、Supermax などが主要企業です。